

1476

Der Gehängebau. Dr. Ing. F. Leiner, Leipzig. 1909.)

而シテ本邦ニテ古來使用セル聖牛、猪子、合掌等何レモ其適用當ヲ得ハ極テ善良ナル作用ヲナスカ
如シ余ハ嘗テ揖斐川及九頭龍川ノ工事ニ聊カ是レヲ利用シ好結果ヲ得タリ
臺灣河川工事ニこんくりーとノ水制ヲ採用セラレタルハ特別ノ事情存在セルニ歸スト信スルト
同時ニ該工事ノ安否ニ關シ將來時々報告ノ勞ヲ惜マレサランコトヲ希望ス尙急流ノ河川工事ニ
於テハ舊式ノ道具ヲ合理的ニ利用スルノ研究ト他ノ柔術的施設ヲ一般ニ講究セラレンコトヲ切
望ス是レ蓋シ比較的木材、石材ヲ得ルニ至ル處困難ヲ感セサル我國ニテハ多クノ場合經濟的河川
維持法ト信スレハナリ(完)

工學士 三 池 貞 一 郎

拜啓仕候陳者こんくりーと制水工ニ關シ討議スヘキ様御申越ノ處本記事ニハ人夫、材料等收集ノ
難易并ニ價格ノ高低等工事攻究上ノ材料ニ乏シク隨テ充分ノ論斷ハ出來難クサレトモ勾配ノ急
ナ荒川ニ僅ニ二三ヶ所位ノ制水シカモふれきしぶるテナイ固イモノヲ築造スルハトウテアラウ
カ、マシテ此ノ爲メニハ何萬何十萬ト云フ大シタ工費ヲ要スルモノテアルトシテミレハ是レト同
額以內ノ費用テ他ノ方法ヲ求ムルコトカ出來ソニ考ヘラル普通ニ行ハレテヤル縦ニ沈床ヲ布
設シテ護岸トシ是レニ土工ヲ主トシテ流路ノ整理ヲナシタレハ効果ハ却テ多クハアルマイカ楠
梓仙溪ニ就テ言ヘハ

縦沈床

延長三百間

間口十間

沈床ヨリ高岸迄

平均幅三〇間高一・五間

掘上ノ流路幅

五〇間

沈床坪(面)

三〇〇〇坪

土(工)立

一三五〇〇坪

以上ノ仕事ニテ相當ノ効果アルヘシト信ス

右御返事迄申述候也(完)